

市報

No.676

平成 27 年 (2015) 10 月 15 日発行

発行人：飯山市長 足立正則
編集：飯山市役所 総務部 庶務課 秘書広報係
印刷製本：河内屋印刷株式会社

もくじ Contents

第3回北信州ハーフマラソン開催	2
飯山市名誉市民に頼貞子さん ほか	3
第15回いいやま花フェスタ開催 ほか	4
市長・副市長がご長寿を祝賀訪問 ほか	5
信大附属図書館地域交流コーナーに「飯山市展」 ほか	6
平成26年度普通会計・特別会計決算	8
上下水道の経営状況(決算)を報告	12
月刊いいやま通信	15
みゆき野かわら版・観光交流都市情報	18

飯山市役所
〒389-2292
長野県飯山市大字飯山1110-1
☎0269-62-3111 (代表)
☎0269-62-5990 (庶務課)
飯山市 HP
<http://www.city.iiyama.nagano.jp>
E-mail
kikaku@city.iiyama.nagano.jp

最多の2256人のランナーが北信州を快走 新幹線を利用しての参加者も

第3回北信州ハーフマラソン開催



野沢温泉村役場
ランナーの鼓動をほうふつとさせる道祖神太鼓の力強い演奏の後
8時30分、ハーフマラソンのランナーが一斉に飛び出していました。

信越自然郷第3回北信州ハーフマラソンが9月27日に開催され、ハーフの部と10キロマラソンの部、今年から新設された3キロマラソンの部に2256人のランナーが参加しました。

今回はホルルマラソン等で優勝経験のある嶋原清子さんがゲストランナーとして出場。終盤では昨年渡った旧中央橋を右手に臨みながら新中央橋を渡るなど一部区間でコース変更があり、またゴールも本町商店街に変更になった新コースで行われました。

毎年、ランナーの皆さんから北信州の素晴らしい景色や、沿道の方々の温かい応援に好評をいただいているこの大会。今年は秋晴れとまではいきませんが、澄んだ空気の中に雄大な景色と、これまで以上の地元の方々の応援がランナーの心に響いて

いたようです。

大会の運営にあたり尽力いただいた交通安全協会、交通指導員会、各地区区長会、飯山警察署、中学生、高校生ボランティア、多くの皆さまのご協力、たいへんありがとうございました。

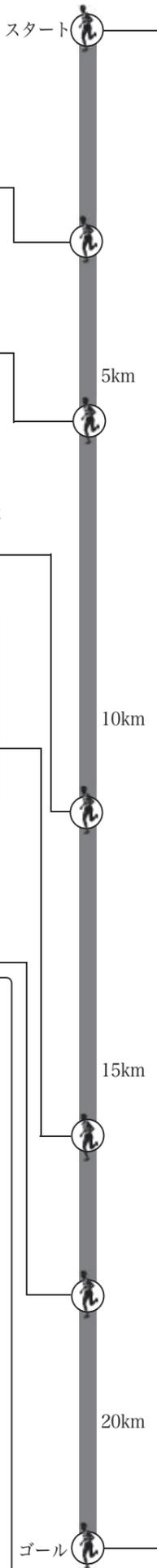
大会結果(総合1位)
○ハーフマラソン総合
男子1位 上田泰輔(愛知県) タイム1時間8分43秒
女子1位 松山なつみ(長野県) タイム1時間25分08秒
○10キロマラソン総合
男子1位 松久哲治(長野県) タイム31分59秒
女子1位 鹿野恵利子(長野県) タイム39分49秒
○3キロマラソン総合
男子1位 高藤陽樹(城南中) タイム10分43秒
女子1位 古澤侑里(新潟県) タイム11分07秒



本町商店街
3km マラソンは本町商店街をスタート



全ての部のゴールである本町商店街にも大勢の市民の皆さんが集まり声援を送りました。



スタート

野沢温泉村側北竜湖入口付近
多くのボランティアの方の支えにより給水所等を運営することができました。

瑞穂犬坊山給水所付近

8時50分には10kmマラソンがスタート。木島平村役場前のスタートゲートを颯爽と駆けていく選手たち

木島平村役場

沿道からの温かな応援は選手たちをゴールに導く原動力になりました。

下木島公会堂周辺
旧中央橋を右手に見ながら橋を渡るランナーたち。ここでも歩道からは大勢の方々の声援がありました。

中央橋

本町商店街は「信越自然郷の旬のもの」でにぎわい創出

信越自然郷うまいもの市 同時開催

ゴールとなった本町商店街では信越自然郷や周辺市町村の旬の特産品を集めた「うまいもの市」が開催され、走り終えたランナーや一般の方など1万2千人の来場がありました。

信越9市町村のほか、観光交流都市である石川県七尾市などから30店を超える出店があり、海の幸、山の幸、郷土料理や地域の物産品などが店頭並び、にぎわいました。

うまいもの市

インタビュー

参加された方々にインタビューしてみました



ハーフマラソン総合男子優勝の上田泰輔選手(愛知県)

最初の下りでペースを作り、リズムに乗って走ることができるとも走りやすいコース。空気も良かったし、沿道からの応援がとても嬉しかった。



10キロ女子60歳以上の部優勝の山川房子選手(石川県)

参加するのは3回目だが、今回は新幹線が利用できるとも便利だった。黄金色の田んぼが広がるこの大会の風景が大好き。これからも走れる限り参加したいと思う。



3キロ中学生男子の部優勝の高藤陽樹選手(城南中2年)

平らが多いコースだったのでラストでペースアップすることができて良かった。このタイムを機に、目標とする大会に出場できるよう、これからもがんばっていききたい。



ハーフマラソンに参加された常盤地区のお二人

最後の中央橋の上りがつらかったが全体的に去年より走りやすいコースだった。体力の続く限り毎年参加したい。



長野市・中野市から参加された男女4人組

自宅周辺の道路を走り、北信州の雄大な自然の中を走るのとても気持ちが良い走りやすかった。

飯山市名誉市民に声楽家

嶺 貞子 さん

飯山市6人目の名誉市民

9月定例市議会最終日の9月25日、飯山市は、東京藝術大学名誉教授である声楽家の嶺貞子さん（飯山地区出身）を、名誉市民に推薦する議案を提出し、全会一致で可決されました。

これにより、木内四郎さん、宮崎市定さん、長谷川青澄さん、大沼淳さん、北澤宏一さんに続き、6人目の名誉市民の称号が嶺さんに贈られることとなりました。



嶺 貞子（本名：峰村貞子）
東京都葛飾区在住（飯山市飯山出身）
東京藝術大学名誉教授 声楽家

嶺さんはこれまで、イタリア歌曲の第一人者として国内は元より国外でも高い評価を受け、文化庁芸術祭賞を受賞、イタリア共和国大統領より勲章を受勲されるなど声楽家として活躍されています。また、東京藝術大学ではこれまで助教、教授を歴任し、我が国の声楽家の育成にも尽力されました。

名誉市民称号贈呈式は、10月31日に開催される予定です。

若者会議が想いを込めた提言書を提出

2月から検討を開始した「若者が定住できる飯山市」へ、9月30日、飯山市若者会議の鷲森秀樹会長、高柳克章副会長らが市役所を訪れ、市長に「飯山市若者会議提言書」を提出しました。



「私たちの熱い想いの塊」ですと提言書を市長に手渡す鷲森会長（中央）と高柳副会長（左）

若者会議は、今年2月、若者が市内で結婚、子育てができ、定住できる飯山市を目指し発足。「観光・アクティビティ」、「農業」、「商業・サービス業」、「飲食業」、「子育て支援・住宅施策」の5つの分科会に分かれ、各分野で検討を重ね、結果をとりまとめた会議全体の意見が今回、提言書として提出されました。5つの提言と内容は次のとおりです。

- ①意欲ある若者が地元で働けるよう後継者・人材の育成を図る▼将来への夢を描ける後継者・担い手育成のためのプログラムを構築▼市内での起業・後継者を志す若者を支援するための奨学金制度の拡充
- ②若者の起業（就業）意欲を

- ③飯山に住み続けたい若者の希望をかなえるための側面的な支援の充実▼保育園・小学校の適正規模の検討▼空き施設等を活用し、雪対策も考慮

- ④飯山市が全国から注目されるような情報発信力の充実・強化▼暮らしや人物を魅力的に発信できる「情報発信の達人」▼若者目線の情報誌の発行、情報発信サイトの開設▼市内商店全てが観光案内できるような人材育成・WiFi環境などの整備▼観光案内パンフレットのフォーマットの統一
- ⑤若者の交流の場や組織づくりを進め、若者同士の自由な交流とまちづくりへの自発的な参画を促す▼地域、企業、学校等と連携し、若者が意見交換できる交流の場や組織づくり▼幅広い年代層の交流促進といいやま高校生会議の開催▼行政に向けた若者の提言がフィードバックできる仕組みづくり

寺町花街道

第15回 いいやま花フェスタ開催



夜の会場、ライトアップされひっそりと咲く花々が幻想的な雰囲気を作りました。



飯山仏壇伝統工芸士による伝統工芸体験コーナー。写真のお二人は市外から来たそうで彫金に挑戦していました。



㈱丸栄産業の庭を解放いただいたオープンガーデン。庭園内を回るお客さまから「すてき」の声が増えてきました。

10月3日、4日、愛宕町雁木通りでいいやま花フェスタ「寺町花街道」が開催され、2日間で7,500人のお客さまが来場されました。

今年15回目を迎えた花フェスタ会場には「全国京都会議」にいられた皆さんや、富山県の花と緑の県づくりを進めている公益社団法人「花と緑の銀行」の皆さんなども来場。市民の皆さんや小・中学生が丹精込めて育てた花の寄せ植えやハンギング作品などは訪れる皆さんの目を楽しませていました。

会場では善光寺大本願雅楽会による雅楽やアングス地方の民族音楽であるウイニヤイの演奏、秋桜音楽祭、花の講習会や伝統工芸の体験などが行われました。また寺めぐり寺宝展や、国土交通大臣賞を受賞した㈱丸栄産業のオープンガーデンなど同時開催のイベントも行われ、それぞれの会場は大勢のお客さままでにぎわいました。



迫力ある中にも哀愁を感じるウイニヤイの演奏は来場者の目をくぎ付けに



秋桜音楽祭では山崎浩さんと沼田秀美さんの歌声が愛宕町に響く

飯山城本丸櫓（やぐら）の模型が寄贈されました

市民の皆さんが夢をみるきっかけになれば

9月29日、太田地区の上村力さんが飯山城本丸櫓を15分の1サイズで再現した模型等を市に寄贈しました。

飯山城にまつわる文献や平面図などを参考に再現したという模型は幅70センチ、高さ115センチほどで、上村さんが営む建設会社の職人さんが2カ月ほどかけて仕上げた作品という事です。

上村さんは昨年10月に行われた築城450年記念イベントに参加した中で城山整備の必要性を感じ、「大勢の市民の方が飯山城について考える機会になれば」と模型を作ることを決めたそうです。



市役所1階ロビーに展示された飯山城本丸櫓の模型と左から長瀬教育長、上村力さん、足立市長

「飯山城について立体的に再現されたものは珍しく、イメージが鮮明となった。さらに検証を重ね、市民の夢として本丸櫓の復元を実現できれば」とお礼を述べました。模型は当面、市役所1階市民ロビーに飾られます。10月2日には、上村さんの寄贈を知った中野市にお住まいの飯山藩士の子孫、浅山邵（たかし）さんが二の丸御殿の図面など当時の貴重な資料32点を寄託してくださいました。

市では飯山城に関する資料などを探しています。お持ちの方は文化交流課（☎0311-11内線292）までご連絡をお願いします。



中野市の浅山さんから寄託いただいた貴重な資料

飯山市文化交流館 " なちゅら " 開館記念

由紀さおり・安田祥子童謡コンサート
～美しい日本のふるさと～

「由紀さおり・安田祥子」が来春オープンする「なちゅら」にやってくる。美しい二人の歌声とあふれる情感で日本語の美しさ、季節のうつろい、そして命のはかなさを心から感じさせてくれることでしょう。飯山小学校合唱隊も特別出演！子どもたちとの共演もお楽しみに！

- 日程 平成 28 年 3 月 19 日 (土) 開演 15:30 開場 15:00
- 会場 飯山市文化交流館 " なちゅら "
- 料金 全席指定 5,000 円 (税込) ※未就学児の入場はご遠慮ください。
- 主催 飯山市、飯山市教育委員会
- 共催 信濃毎日新聞社
- 企画制作 安田音楽事務所、フウパブリッシャーズ、オフィス名畑
テス・カルチャーセンター
- 協力 プロマックス
- 後援 ユニバーサルミュージック
- 問合せ 飯山市民会館 ☎ 62-3341



- 枚数限定先行販売 (飯山市民対象)
11 月 16 日 (月) 10:00 ~ 11 月 29 日 (日) 17:00
市民会館窓口にてお求めください。
(規定枚数終了しだい販売終了とさせていただきます。)
- 一般発売
12 月 1 日 (火) 10:00 ~
市民会館窓口、またはテス・カルチャーセンター (電話予約
026-223-8875 およびネット予約) でもお買い求めできます。



飯山市文化交流館
なちゅら
に注目

このコーナーは来年 1 月 25 日の開館を目指し、建設工事が進む「飯山市文化交流館なちゅら」の工事進捗状況や、完成後の機能などを紹介するコーナーです。なちゅらが市民の皆さんに愛される施設になるよう、さまざまな情報をお伝えしていきます。

文化交流課 文化振興係 ☎ 62-3111 内線 292

さまざまな催しに対応可能
第 1 回 **大ホール・小ホール**

大ホールのコンセプトは「木に包まれたハレの場」。可動席 416 席、固定席 84 席の計 500 席が完備されていて、可動席の収納で平土間形式での利用も可能です。(イメージ図②)

音楽コンサート、演劇、講演会、映画、作品展示や物販などの商業展示会、パーティー、ヨガ、体操などの軽運動などさまざまな用途に対応可能な施設です。



大ホール天井部 10月5日撮影



大ホール イメージ図①



大ホール イメージ図②

小ホールは 171 席を完備。自然光が差し込む設計となっており「明るく繊細な発表の場」のコンセプトの下、主に音楽ホールとして利用できる施設です。

小規模な演奏会、講演会、学校などの発表会や会議などに対応できます。

10 月初旬現在でイメージ図に近いところまで仕上がってきました。



小ホール イメージ図



10月5日撮影

1月25日
オープン

10月6日撮影

【市民会館ファイナルイベント】

「ありがとう市民会館」

11月29日(日)開催
会場：飯山市民会館

文化交流課 文化振興係 ☎ 62-3111 内線 292

舞台ステージ

「さよならステージ」

市民会館の思い出をつづる映像の上映や次世代を担う少年少女のダンス、50年の歴史を振り返るふるさとのうた、流行歌の合唱などステージイベントを開催します。

■日時 11月29日(日) 開場 13:30 ~
開演 14:00 ~ 終了 15:30 頃

ロビー展示など

「みんなの市民会館」

お寄せいただいた市民会館にまつわる写真などを使って、市民の皆さんと一緒に製作したモザイク画を展示します。

また、市民の皆さんの市民会館にまつわる思い出話を収録したインタビュー映像を放映します。

■日時 11月28日(土)、29日(日)
モザイク画の展示 終日
インタビュー映像上映 10:00 ~ 15:00
(3F 大会議室 約 45 分 連続放映)



昭和 58 年
国際アマチュア
演劇祭に出場する
劇団「土」を
取材した池田満
寿夫氏(下段左
から 3 番目)
【市役所庶務課の
資料より】



市民の皆さまのご来場をお待ちしております。

今年度は市内で 8 人の方が 100 歳を迎えられます。皆さん、お体に気を
つけ、これからもますますお元気で過ごしてください。

丸山つぎのさん
(大正 4 年 9 月生)

ご家族いわく「本人は 80 歳くらいの気持ちでいるのでは…」というくらいお元気で、辛いもの以外は何でも召し上がるそうです。



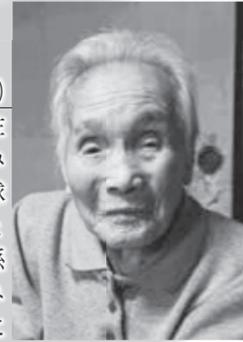
清水保江さん
(大正 5 年 1 月生)

調理師の息子さん食べるものを気にしてくれることと、日課のストレッチ体操が長寿の秘訣と話してくれました。



佐藤志ずさん
(明治 40 年 12 月生)

107 歳の佐藤さんの楽しみはテレビで野球を観戦すること、時にはお孫さんとチャンネルの取り合いになることもあるそうです。



大口まさえさん
(大正 5 年 3 月生)

「みんな良くしてくれるから病気なんかしたことない。」と話す大口さんは最近、近所で生まれた赤ちゃんを見ることを楽しみにしているそうです。



市長、副市長が市内のご長寿を祝賀訪問
9 月 29 日、市長、副市長が市内のご長寿のお宅をそれぞれ祝賀訪問しました。この訪問は毎年、敬老の日の記念として行われていて、長寿のお祝いと祝状、祝品の贈呈などを行っています。
市長、副市長がお会いしたのは今年度、100 歳になられる飯山地区新町の清水保江さん、外様地区尾崎の丸山つぎのさん、太田地区北条の大口まさえさんと現在市内最高齢の 107 歳、木鳥地区天神堂の佐藤志ずさんです。

市長、副市長が市内のご長寿を祝賀訪問
長年社会のために尽くされた高齢者を敬う

リニューアルオープンを機に地域との連携を積極的に推進

信州大学附属図書館地域交流コーナーに「飯山市展」

平成16年に市と大学が、また平成25年には市立図書館と附属図書館が連携協定を結ぶなど、飯山市と信州大学はこれまでさまざまな形で連携を図ってきました。

このたび信州大学附属図書館中央図書館のリニューアルオープンに伴い、さらなる地域との連携と広く情報発信を行う場として地域交流コーナーが設置され、その第1弾として9月14日から10月12日までの間「飯山市展」が開

催されました。9月14日に行われたオープニングセレモニーで足立市長は「飯山市の資源をこの展示で知っていただき、ぜひ実物を現地に見に来ていただきたい。より密接に協力しお互い発展していければ」とあいさつしました。

同展では、高橋まゆみさんの人形や、鷲森誠さんの彫金作品、市内の風景写真など飯山市の魅力凝縮した展示品が並びました。



展示品を見る信州大学副学長・信州大学附属図書館長の世本正治さん(左)と足立市長(右)

『味蔵 月あかり』が

信州食育発信3つの星レストランに登録されました

県では、食育を総合的に取り組む飲食店を「信州食育発信3つの星レストラン」に登録し食育を進めています。

高橋まゆみ人形館隣の「味蔵 月あかり」がこのたび、登録を受け9月17日、登録店プレートの交付式が同店で行われました。

健康づくりに配慮したメニューや、郷土食で地域食材をPRすること、食べ残しを減らす取り組みなどが登録の要件で、市内では「そば処幸

輪」、「レストランピアン」、「イナリ食堂」、「ふじ味」に次ぐ登録となりました。

同店では「信州いいやま食の風土記」から作成した「飯山の食ごよみ」を基に地域の食材を使い、「飯山の母ちゃん」たちが作ってきた料理を提供していて、月あかりの坂原シモ代表は「地産地消の精神の元、市民の皆さんや観光客の方々にいつも愛していただけるとありがたい」とあいさつされました。



加藤北信保健福祉事務所長(左)から登録店プレートを授与される信州いいやま観光局理事長の月岡副市長と月あかりの坂原代表

283万人の台湾人観光客のニーズをつかむ

信越自然郷 訪日台湾人インバウンド推進フォーラム開催

9月29日、飯山市民会館で「信越自然郷 訪日台湾人インバウンド推進フォーラム」が開催されました。

近年、増加する日本を訪れる外国人旅行者。中でも台湾からの旅行者が上位を占めており、今回のフォーラムは台湾人旅行者にターゲットを絞り、北陸新幹線の開業で首都圏から近くなったこの地域に訪れていただくためにはどのような取り組みが必要か3部構成で行われました。第1部は観光庁から国のインバウン

ド政策について講演いただき、第2部ではインバウンドウェブサイトを運営会社(株)ジーリーメディアグループの吉田氏から「台湾人観光客を爆増させる方法」と題して台湾人の気質などを交えてわかりやすく講演いただきました。また第3部では訪日外国人の受入ポイントをとークセッション形式で行いました。

この日は信越9市町村広域観光連携会議の構成員である観光事業者・経済関係者・行政関係者ら約80人が参加。



受入についてヒントを得ることができたことと思います。

第31回全国京都会議通常総会が飯山市で開催されました

10月2日、市内のホテルで第31回全国京都会議通常総会が開催され、会員市町の首長や観光関係者ら約50人が参加しました。

昭和60年に発足した同会議は全国の小京都をはじめ、京都ゆかりの市町と本家の京都市が集まった団体で、観光やまちづくりなどで連携しています。飯山市は発足当時から加盟していましたが、飯山で総会が開催されるのは今回が初めてでした。

総会では各市町の事例も踏まえ、今後はインバウンドを意識した対応が重要になってくるなどの意見が提案されました。

総会の途中では、飯山小学校合唱隊の4年生から6年生の30名が唱歌「ふるさと」を合唱。ゆかりある飯山をPRしながら会の空気を和やかにしてくれました。



飯山小学校合唱隊の皆さんの歌声で会場は和やかな雰囲気

各地を巡回している全国植樹祭のシンボル

「木製地球儀」を市内2カ所で展示



田中北信地方事務所長(左)から木製地球儀を受け取る足立市長(右)

第67回全国植樹祭 市内で行われる関連行事
○飯山駅南口広場植樹祭
日時 11月3日(火・祝)
10時から
会場 飯山駅南口広場
○北信州植樹祭
日時 平成28年5月21日(土)
(予定)
会場 飯山駅南口広場
○第45回全国林業後継者大会
日時 平成28年6月4日(土)
会場 飯山市文化交流館なちゅら

来年6月5日に長野市で開催される第67回全国植樹祭。飯山市内でもこれから関連したさまざまな行事が開催されますが、10月5日飯山駅観光交流センターでは、全国植樹祭のシンボルである「木製地球儀」の引渡し式が行われ、足立市長が田中北信地方事務所長から木製地球儀を受け取りました。

飯山市食生活改善推進協会による
「男性のための料理教室」-参加者募集-
保健福祉課 健康増進係 ☎62-3111 内線187
飯山市食生活改善推進協会(18歳に関連記事掲載)による「男性のための料理教室」を開催します。初心者向けの内容となっておりますので、ぜひお気軽にご参加ください。
■日時 11月25日(水) 10:00~13:00
■場所 飯山市保健センター 調理室
■対象 市内在住の男性 先着20名
■参加費 300円 ■申込期限 11月13日(金)

自分を知らう! **チャレンジ体力測定** CHALLENGE!! 参加者募集
保健福祉課 健康増進係 ☎62-3111 内線181・182・187
チャレンジ体力測定では、トレーニングマシンなどで、下半身の筋力や持久力、柔軟性など13項目を測定します。またトレーニング方法も紹介し成果を確認するために、定期的に再測定も行います。
自分の体力を知り、体力アップにチャレンジしてみませんか。
■測定日(次の3コースから選びお申し込みください)
※いずれのコースも2名以上の参加者で開催します。
Aコース 11月13日(金) 13:30~15:30
Bコース 11月14日(土) 9:30~11:30
Cコース 11月14日(土) 13:30~15:30
■定員 各コース12名(定員になり次第締切)
■場所 飯山市保健センター(市役所前)
■対象者 18歳以上の市民(心臓疾患を現在治療中、過去に治療された方は参加できません。その他の疾病で治療中の方は、主治医にご相談ください)
■申込期限 11月6日(金)まで(保健福祉課健康増進係までお申し込みください)
測定項目 身長、体重、体脂肪率、腹囲、血圧、握力、内転筋力、外転筋力、大腿四頭筋力、持久力、長座位体前屈、ファンクショナルリーチ、Timed Up & Go
■参加費 無料(希望者には、セラバンド500円、やわらかボール150円をあっせんします)

権利擁護啓発事業

講演で学ぶ 成年後見制度

障がいや認知機能の低下などの理由により、判断能力に心配のある状態になっても安心して地域で生活できるように、成年後見制度などについて講演を聞きながら理解する講演会を開催します。参加は無料です。お気軽にご参加ください。

■日時 11月24日(火)
13時30分～15時30分
■会場 中野市中央公民館

■内容

○第一部 太鼓演奏、事業紹介(北信圏域権利擁護センター)
○第二部 講演
講演者 神田織音さん
■その他 終了後(15時30分～16時30分) 個別相談会を行います。ご希望の方は事前に北信圏域権利擁護センター(☎0269-22266)へお申込みください。



講演者 神田織音さん

主催 北信圏域権利擁護センター
共催 飯山市・中野市・山ノ内町・木島平村・野沢温泉村・栄村

北信州みゆき農業協同組合 ☎026010 農林課 農業振興係 ☎0263111 内線262・263

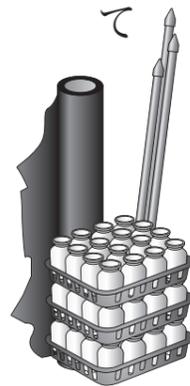
この機会に処分をお願いします
農業用廃プラスチック類回収について

ダイオキシンなどの環境問題から、野焼きは法律により禁止されています。資源の有効活用と環境への配慮から、農業用廃プラスチック類の集団回収を行います。

■日時 10月31日(土)
午前8時30分～11時
■場所 JA北信州みゆき基幹配送センター(木島)、基幹集荷所(常盤)、西部配送センター(太田)
■持ち物 委任状、負担金、印鑑(委任状等関係書類は、各営農センター、農林課窓口にて用意しております)

回収する種類と負担金 (1kg)

種類	金額
ポリエチレン類	50円
肥料袋類	50円
塩化ビニール類	60円
その他ビニール類	70円
その他プラスチック類	100円
きのこビン・育成ポット	95円
農業空容器関係	190円
イボ竹	35円
直管・アーチパイプ	15円
紙袋	5円/袋



市内各保育園(連絡先は左表参照)・子ども育成課 子育て支援係 ☎0263111 内線363

◆ 保育園入園のご案内 ◆

◆申込み 来年4月から新規に保育園への入園を希望されるお子さんの、入園に必要な書類の配布を10月21日(水)より開始しますので、受付期間内にお申し込みください。また、新規のお申し込みのほか、現在の保育園から他の園に移りたい場合、年度の途中から入園を希望する場合なども、この期間にお申し込みください。

◆認定申請受付期間 10月26日(月)～11月6日(金)
◆書類配布および受付場所 市内保育園
◆飯山市役所子ども育成課
※幼稚園への入園希望は、直接幼稚園へお問い合わせください。
飯山中央幼稚園 ☎0262679

◆認定

保育園は、保護者が家庭内で保育することができない場合に、保護者に代わって保育を行う施設です。入園にあたっては、保護者が次のいずれかの事由に該当することが要件となります。

①就労(月48時間以上)
②妊娠・出産
③病气・障害
④親族の介護
⑤災害復旧
⑥求職活動
⑦就学
⑧DV・虐待
⑨育児 など

これらの要件に該当する方は、次の区分の【2号認定】または【3号認定】を受け、入園が可能となります。

- 【1号認定】 満3歳以上で、幼稚園での「教育」を希望する場合
- 【2号認定】 満3歳以上で、保育園での「保育」を希望する場合
- 【3号認定】 満3歳未満で、保育園での「保育」を希望する場合

※詳しくは、入園案内の資料をご覧ください。

< 飯山市内保育園一覧 >

保育園名	定員	延長保育	土曜	休日	連絡先
しるやま	60	7:30～19:00	○	○	62-5595
あきは	70	7:30～19:00	△	×	62-2461
木島	100	7:30～19:00	○	×	62-5888
秋津	70	7:30～19:00	△	×	62-0476
いずみだい	70	7:30～19:00	△	×	62-5889
常盤	80	7:30～19:00	△	×	62-5804
瑞穂	60	7:30～19:00	△	×	65-2515
とがり	100	7:30～19:00	○	○	65-4250
しらかば	30	7:30～19:00	△	×	69-2979
めぐみ(私)	150	7:00～19:30	○	×	62-2129

「○」一日実施、「△」13:00まで実施、「×」未実施

< 平成27年から拡大した保育サービス >

- ・入所年齢を満1歳に引き下げ(めぐみ:6ヵ月程度)
- ・延長保育時間を19:00までに拡大(めぐみ:19:30まで)
- ・保育料階層区分の細分化による保護者負担の軽減
- ・土曜一日保育の実施(市内4園)
- ・休日保育の実施(市内2園)

11月は児童虐待防止推進月間です

「もしかして」あなたが救う 小さな手 (H27年度標語)

【お問い合わせ・ご相談・目撃情報など】中央児童相談所 ☎026-238-8010 飯山市役所相談室 ☎62-3111 内線171



全国共通ダイヤルからも
ご相談いただけます

- 虐待を受けたと思われる子どもがいたら。
 - ご自身が出産や子育てに悩んだら。
 - 子育てに悩む親がいたら。
- 児童相談所や市町村の相談窓口にご連絡ください。

児童虐待について知ってください

全国的に児童相談所への児童虐待の相談件数が増加しており、子どもの命が奪われる重大な事件も後を絶たない状況です。虐待には、暴力を振るう身体的虐待のほか、ネグレクト(育児放棄)、心理的虐待、性的虐待があり、虐待者は実母、実父が多くなっています。虐待を受けた子どもは自分を大切に思えず、心に受けた傷に一生苦しむこともあります。

不安や悩みをひとりで抱えこまないで

子育てに悩みや不安を感じたら、自分だけで抱え込まず、保健師や保育士、家庭児童相談員に相談しましょう。また、「虐待かな?」と思われる子どもや家庭を知った人は、中央児童相談所または飯山市役所相談室へご連絡ください。社会全体で子どもを見守り、児童虐待のない社会にしていきたいと思います。

増えています
乳幼児揺さぶられ症候群

赤ちゃんや小さな子どもが激しく揺さぶられると、見た目にはわかりにくいですが、頭(脳や網膜)に損傷を受け、重い障害が残ったり、命を落とすこともあります。赤ちゃんが泣きやまないときは、赤ちゃんを安全な所に寝かせて、その場を少しの間でも離れ、まず自分をリラックスさせましょう。



脳 いきいき講演会

飯山市地域包括支援センター ☎62-3111 内線186

全国的に高齢化が進み、認知症に伴い要介護状態になる人が増加している今日、市内でも大勢の認知症高齢者やその家族がさまざまな悩みを抱えています。

そこで広く市民の皆さんに認知症に対する知識の普及を図ることを目的に講演会を開催します。



講師 矢彦沢裕之先生

■日時 11月6日(金)
13:30～15:00
(13:00から受付)
■会場 飯山市保健センター
■講演 「認知症とのつきあい」
講師:長野赤十字病院
神経内科部長
矢彦沢裕之先生

第21回 長野県聴覚障害者大会 in 飯山

保健福祉課 障がい福祉係 ☎62-3111 内線189

ノーマライゼーションの理念のもと、障がい者の社会参加を促進し、社会全般においても、すべての障がい者や聴覚障がい者に対する正しい理解と認識を深め、聴覚障がい者の福祉と文化の向上を図ることを目的に「第21回長野県聴覚障害者大会」が飯山市で開催されます。

■日時 11月8日(日) 10:00～15:30
■会場 飯山市公民館
■内容
(1)講演
・テーマ 「耳が聞こえなくても当たり前な社会を！」
・講師 家根谷 敦子氏(兵庫県明石市議会議員)
(2)大会式典・表彰
(3)アトラクション(神楽舞、ピエロほか)
(4)その他催し物
聴覚障害者作品展、福祉機器展示、バザーコーナーほか
主催 社会福祉法人長野県聴覚障害者協会 共催 飯山市

平成 26 年度 普通会計・特別会計 決算

飯山市の平成 26 年度普通会計および特別会計決算がまとまりました。今回はその状況をお知らせします。

普通会計とは——
一般会計、福祉企業センター特別会計、ケーブルテレビ事業特別会計をあわせたものです。

平成26年度の普通会計と特別会計を合わせた決算額は、歳入（収入）249億4956万円、歳出（支出）235億8437万円となりました。

歳入

普通会計の歳入について、市税は法人市民税の増などにより前年度比1.9割増の24億3013万円となりました。地方交付税は52億6280万円、普通交付税が前年度比4.2割の減、特別交付税は3.1割の増と

なり、あわせて3.2割の減となりました。新幹線関連整備などに伴い、市債は前年度比1.1割増の17億4730万円、基金繰入金は904.5割増の12億8399万円となりました。また、「ふるさと寄付金推進事業」の積極的な取組により、ふるさと納税額が6億円を超え、寄付金が前年度比761.6割増の6億2870万円となりました。

歳出

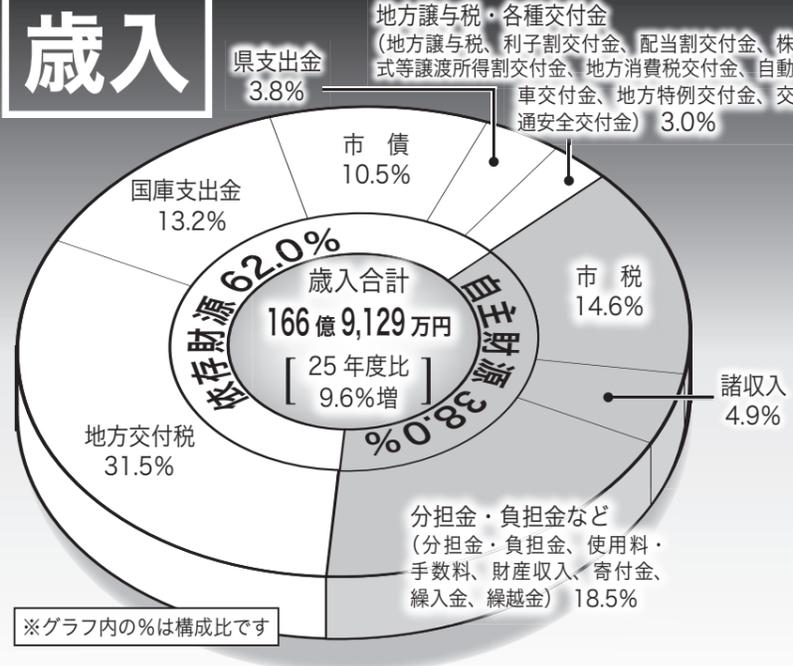
普通会計の歳出は、普通建設事業費が39億7140万円、前年度比9.6割の増となりました。新幹線開業年度となり、区画整理事業や駅西地区整備事業、飯山駅統合事業などの新幹線関連整備により増額となったものです。また、借入金の返済にあたる公債費は、過疎債などの返済を順調に行い前年度比13.0割減の10億5023万円となりました。物件費については前年度比30.9割増の21億242万円となりましたが、これはふるさと寄付金の特典経費の増などによるものです。維持補修費については、除雪対策事業費の増が影響し前年度比25.2割増の13億2839万円となりました。

今後とも国・県の動向や、経済状況などに注視しつつ適切な長期財政推計に基づいた節度ある財政運営に努めていきます。

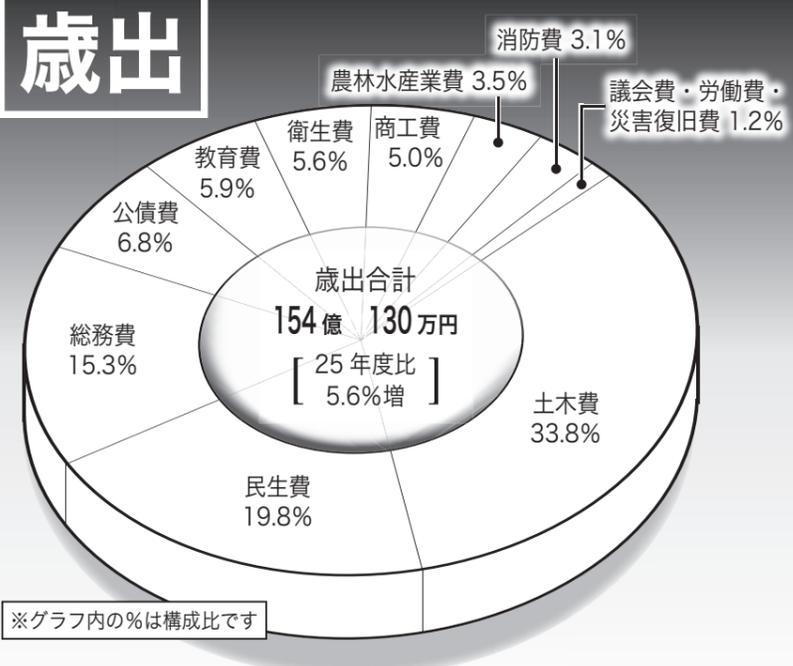
区分	決算額	対前年増減
地方交付税	52億6,280万円	3.2%↓
市税	24億3,013万円	1.9%↑
国庫支出金	22億535万円	2.3%↓
市債	17億4,730万円	1.1%↑
諸収入	8億1,124万円	6.3%↓
県支出金	6億3,967万円	17.2%↑
分担金・負担金など	30億9,670万円	103.5%↑
※うち繰入金	12億8,399万円	904.5%↑
※うち寄付金	6億2,870万円	761.6%↑
地方譲与税・各種交付金	4億9,810万円	2.4%↑

税目	決算額	構成比	増減率
固定資産税	11億5,790万	47.6%	1.0%↓
市民税	9億6,317万	39.6%	7.8%↑
市たばこ税	1億7,312万	7.1%	6.1%↓
軽自動車税	7,081万	2.9%	0.4%↑
都市計画税	5,563万	2.3%	1.3%↓
入湯税	950万	0.4%	1.1%↓

歳入



歳出



区分	決算額	対前年増減
普通建設事業費	39億7,140万円	9.6%↑
物件費	21億242万円	30.9%↑
人件費	19億9,255万円	1.2%↓
繰出金	18億4,989万円	1.9%↑
補助費等	14億8,014万円	4.8%↓
扶助費	13億7,832万円	3.8%↑
公債費	10億5,023万円	13.0%↓
投資・出資金・貸付金	5億9,204万円	13.6%↓
維持補修費、その他	9億8,431万円	33.3%↑

区分	決算額	対前年増減
土木費	52億197万円	11.9%↑
民生費	30億4,566万円	3.4%↑
総務費	23億5,383万円	25.5%↑
公債費	10億5,023万円	13.0%↓
教育費	9億1,174万円	3.7%↓
衛生費	8億6,845万円	0.8%↓
商工費	7億6,408万円	0.9%↓
農林水産業費	5億3,683万円	0.5%↓
消防費	4億7,773万円	14.4%↓
議会費・労働費・災害復旧費	1億9,078万円	9.3%↓

用語解説

〔歳入〕

- 市税：市民税や固定資産税など、市に納められた税金
- 地方交付税：所得税などの国税のうち一定の割合を、市の状況に応じて国から配分されるお金
- 諸収入：他の収入科目に含まれない収入をまとめたもの。延滞金、預金利子、宝くじ収益金などもこれにあたる
- 分担金・負担金：分担金は、市の事業により特に利益を受ける者から、その受益の限度において徴収されるもの。負担金は、地方公共団体が、他の市や住民に課するもので健康診断受診者負担金が代表的なもの
- 各種交付金：国税として国が徴収した財源を、一定の合理的基準によって地方公共団体に再配分されるお金
- 市債：市が建設事業などの財源とするための長期の借入金で、償還が一会計年度を超えるもの
- 国庫支出金：国から支出される、原則的に使途が特定されている負担金、補助金、交付金、委託金など
- 地方譲与税：国が国税として徴収し、そのまま地方公共団体に対して譲与する税

用語解説

〔歳出〕

- 土木費：道路や河川、新幹線などの整備に使われたお金
- 民生費：高齢者や障がい者、児童福祉の進などに使われたお金
- 総務費：人事管理や財産管理、企画調整や地域振興、税務事務などに使われたお金
- 公債費：これまでに公共事業などで借り入れたお金の返済に使われたお金
- 教育費：小中学校の管理運営や施設整備、および生涯学習の推進などに使われたお金
- 商工費：商業や観光の振興および企業の誘致などに使われたお金
- 衛生費：ごみの処理や健康増進事業などに使われたお金
- 農林水産業費：農業、林業、畜産などの振興に使われたお金
- 消防費：消防団の運営や常備消防の維持など、消防活動や救急活動に使われたお金
- 議会費：議会運営に使われたお金
- 労働費：労働行政に使われたお金
- 災害復旧費：災害復旧のために使われたお金

平成 26 年度 特別会計決算

特別会計とは――

一般会計とは別に設けられ、独立した経理管理が行なわれる会計のことです。

特別会計名	歳入	歳出	差引残額
公共下水道事業	8億3,561万円	8億2,917万円	644万円
特定環境保全公共下水道事業	3億6,052万円	3億5,571万円	481万円
農業集落排水事業	3億3,266万円	3億2,787万円	479万円
簡易水道等	1億7,586万円	1億7,349万円	237万円
国民健康保険	26億7,819万円	26億5,917万円	1,902万円
介護サービス事業	861万円	788万円	73万円
介護保険	27億4,986万円	27億1,383万円	3,603万円
後期高齢者医療	2億3,856万円	2億3,757万円	99万円

・いずれも普通会計に算入していないものです。
・1万円未満四捨五入により端数処理してあります。
・下水道事業特別会計は16ページでお知らせしています。

平成 26 年度決算に基づく 健全化判断比率など

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、飯山市の健全化判断比率（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の4指標の総称）と、公営企業の資金不足比率を公表します。

健全化判断比率には、「早期健全化基準」と「財政再生基準」があり、4指標のうち各基準を1つでも上回ると「早期健全化団体」、「財政再生団体」へと移行し、財政健全化計画の策定などが義務付けられています。

【健全化判断比率】

指標	25年度	26年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	—	13.83%	20.00%
連結実質赤字比率	—	—	18.83%	30.00%
実質公債費比率	13.1%	11.9%	25.0%	35.0%
将来負担比率	58.5%	81.0%	350.0%	—

実質赤字比率、連結実質赤字比率

実質赤字額がないため(黒字のため)「—」で表示しています。

実質公債費比率、将来負担比率

前年に比べ実質公債費比率は1.2ポイント低下、将来負担比率は22.5ポイント上昇しました。変動の要因として、実質公債費比率では過疎債などの地方債償還額が減少した事、将来負担比率では地方債の現在高が増加した事が挙げられます。

普通会計地方債残高は、過疎対策事業の本格化に伴う新たな過疎債の借入れ等により平成26年度は98億2,578万円となり、平成25年度の85億989万円と比較すると13億1,589万円増加しています。

【資金不足比率】

決算において資金不足を生じた公営企業がないため該当ありません。「資金不足比率」は各公営企業の資金不足額が、事業規模に対してどの程度あるかを示す数値で、基準値を超えると「経営健全化計画」を定める必要があります。

健全化判断基準とは・・・

実質赤字比率・・・

一般会計などを対象とした実質赤字額が標準財政規模に対する比率です。

連結実質赤字比率・・・

全会計を対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する比率です。

実質公債費比率・・・

地方公共団体の収入に対する借金返済額の比率を示すもので、普通会計の公債費に下水道特別会計や水道事業会計などへの繰出金(公債費相当)と岳北広域等への分担金(公債費相当)を加算し、財政負担の度合いを判断するものです。18%を超えると地方債発行について国や県の許可が必要となります。

将来負担比率・・・

地方公共団体の一般会計などの借入金(地方債)や将来支払っていく可能性のある負担などの残高を現時点で指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示す比率です。350%を超えると健全化計画を策定し、財政の健全化を図らなければなりません。

土木費

- 区画整理・新幹線駅周辺整備・関連事業など (29億6,288万円)
- 飯山ぶらざ(仮称)建設事業(7億3,230万円)
- 道路新設・改良事業(1億9,039万円)
- 都市計画道路静間線整備事業(3億3,504万円)
- 除雪対策費・除雪機械整備(6億5,186万円)
- 協働のみちづくり事業(2,219万円)
- 市営住宅整備事業(2,276万円)
- 移住定住推進事業(1,707万円)

衛生費

- 各種検査、予防接種など(1億445万円)
- 環境・ごみ減量・再資源化推進(270万円)
- 岳北広域行政組合衛生関係運営負担金 (3億4,961万円)
- リサイクル推進事業(2,738万円)
- 地域中核医療機関支援事業(1億6,311万円)

民生費

- 介護・訓練等給付事業(3億8,208万円)
- 児童手当給付事業(3億918万円)
- 後期高齢者医療市町村負担事業(2億6,913万円)
- 保育所運営事業(2億2,643万円)
- 医療給付事業(1億1,573万円)
- 臨時福祉給付金等給付(9,192万円)
- 老人施設入所措置事業(6,427万円)
- 飯山市社会福祉協議会補助(2,907万円)
- 高齢者生きがい対策事業(2,589万円)

教育費

- 小学校施設リニューアル整備事業(1,588万円)
- 中学校スクールバス運行事業(1,405万円)
- 学力向上総合対策事業(953万円)
- スポーツ・ジュニアスポーツ振興(1,868万円)
- 冬期学校スポーツ振興事業(290万円)
- 小中学校等図書館図書整備(897万円)
- 小中学校コンピューター整備事業(331万円)

平成 26 年度
普通会計決算

主な使い道

特徴的な事業、生活に身近な事業
(1万円未満四捨五入)

総務費

- 新幹線開業PR推進事業(3,602万円)
- 公共交通運行事業(6,464万円)
- 区長行政事務委託事業(1,884万円)
- 選挙執行事業(5,187万円)
- ふるさと寄付金推進事業 (5億7,918万円)
- コミュニティ助成事業(1,250万円)
- 輝く地域づくり支援事業(305万円)
- 地域おこし協力隊事業(235万円)

消防費

- 消防団の運営経費(7,028万円)
- 消防防災施設整備、管理(4,352万円)
- 災害対策・防災減災対策(534万円)

商工費

- 広域観光推進事業(4,900万円)
- 本町アーケード整備事業(4,182万円)
- 信州いいやま観光局運営事業(4,000万円)
- 観光施設整備、管理(1,602万円)
- 斑尾高原トイレ整備事業(997万円)
- 誘客宣伝観光振興事業(862万円)
- インバウンド推進事業(244万円)
- 企業誘致対策(190万円)

農林水産業費

- 中山間地域等直接支払い事業(8,293万円)
- 農村多面的機能支払交付金事業(1,653万円)
- 新規就農総合支援事業(614万円)
- 菜の花の里づくり事業(498万円)
- 協働のみちづくり事業(688万円)
- 協働のもりづくり事業(93万円)
- みゆきポーク生産振興対策事業(360万円)
- 元気な農業づくり支援事業(194万円)

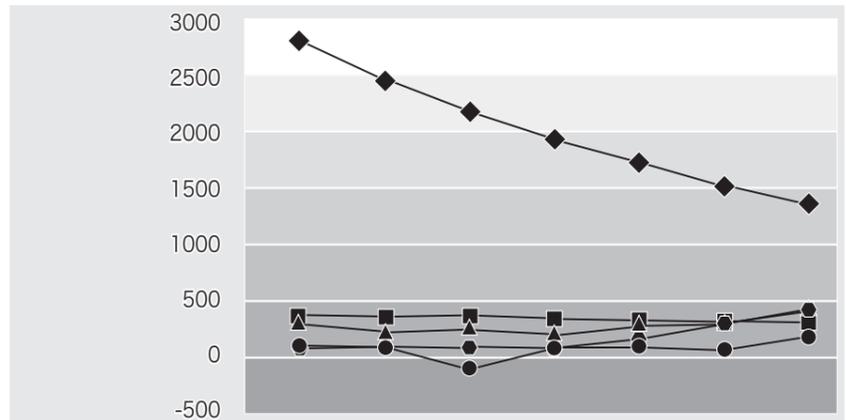


上水道事業の経営状況（決算）をお知らせします

安全・安心でおいしい水の安定的な供給を

水道事業は、地方公営企業として常に経済性を発揮しながら、計画的に事業を実施しております。ここ数年配水池からの配水量に対して料金として回収される水量(有収率)の低下が見られます。漏水が主な原因と考えられることから、引き続き漏水箇所特定と修理を行い有収率の向上を図り、経営の改善に努めます。今後も「安全・安心でおいしい水の安定的な供給」をいたしますので、市営水道へのご理解とご協力をお願いします。

◆平成20年度から平成26年度までの経営状況（単位：100万円・税抜き）



	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
◆ 企業債(借入金)元金残高	2,840	2,495	2,213	1,957	1,711	1,513	1,416
■ 給水収益(水道使用料)	439	430	437	419	416	400	394
▲ 流動資産額(現金預金等)	325	241	282	238	324	373	488
● 建設改良費支出額	43	66	74	57	188	314	421
● 純利益	64	55	-56	55	61	43	127

※新たな会計基準の適用の影響により純利益は増加しますが、償却資産の取得に係る補助金等の収益化に伴い増加する利益は現金収入を伴わない会計上の利益であり、経営を資金面で好転させるものではありません。

- 企業債(借入金)元金残高は、近年の繰上償還により平成20年度に比べおおむね半分になりました。
- 給水収益(水道使用料)は、人口減少および節水意識の向上などにより年々減少しています。
- 流動資産額(現金預金等)は、前年度より1億円ほど増加となりました。(将来の工事等のために備えるものです。)
- 建設改良費は、山岸水源水道施設整備および中央橋架替関連工事などにより、前年度に引き続き大幅な増加となりました。
- 純利益は、会計制度の見直しにより大幅な増加となりましたが、旧会計制度の基準に照らし合わせると、ほぼ前年度並みとなります。

お水だんしゃくのワンポイントアドバイス

長期ご不在時には水道の閉栓(休止)の手続きを



お仕事やご家庭の都合で長期間ご自宅を離れる場合は、漏水などの予期しないトラブルを防ぐため、また、閉栓することで基本料金が不要となります。

水道開栓、閉栓の手続きは上下水道課窓口で行っています。印鑑および手数料(1000円)をお持ちのうえ、開栓、閉栓希望日の2～3日前までにお越しください。

平成26年度 上水道事業の給水状況

年度末の給水戸数	6,495戸
内 家 庭	5,850戸
事業所・工場	543戸
官公署・団体他	102戸
年度末の給水人口	1万6,955人
年間の総配水量	247万501m ³
1カ月の平均配水量	20万5,875m ³
年間の有収水量	183万7,919m ³
1カ月の平均有収水量	15万3,160m ³
有 収 率	74.4%

有収水量：水道料金請求の対象となった水量

一般財団法人農林統計協会普及部 ☎03-349212987
農林課 農業振興係 ☎03-3111内線262263

新農家暦・農業日誌の販売について

例年あつせんを行ってまいりました「新農家暦・農業日誌」につきましては、本年度から発行元へ直接注文(送料、代金の振込手数料は注文者負担)、または書店へ直接注文(送料、振込手数料はかかりません)していただくことになりました。ご希望される方は下記連絡先または最寄りの書店よりご

注文いただきますようお願いいたします。

■販売内容(各1冊)
新農家暦 520円
農業日誌 1500円
ファミリイ日誌 1500円

■発行元
一般財団法人農林統計協会 普及部
〒03-349212987
FAX 03-349212942

企画財政課 企画調整係 ☎03-3111内線392

宝くじの助成金で祭り用具を整備しました

宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源に実施している「コミュニティ助成事業」を活用し、下沢区(常盤地区)が、祭具を整備しました。

また、公益社団法人長野県市町村振興協会が実施している「地域活動助成事業」(秋津地区飯駒区)が祭り用具を整備しました。

この事業は、宝くじの社会貢献広報事業の一環として、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上を目的に行われています。



常盤地区 大塚区
— 大小の太鼓とのぼりポールの整備

秋津地区 飯駒区
— 提灯、電気わた菓子機、発電機、灯光器、のぼりポールの整備

高齢者へのインフルエンザの予防接種助成

保健福祉課 健康増進係 ☎62-3111内線187

インフルエンザの予防接種を希望される方は、12月中旬までに接種することが効果的とされています。

■対象者 市内在住の方
①接種日現在65歳以上の方
②60歳以上65歳未満の方で心臓、腎臓、呼吸器等に重い病気のある方(身体障害者手帳1級程度)

■実施期間 平成28年3月31日まで

■申込方法 医療機関に直接お申し込みください。

■接種費用 1,000円(1人1回に限る)
(生活保護世帯は、自己負担が免除)

委託予定医療機関

飯山赤十字病院	62-4195	北信州診療所	65-1200
服部医院	62-2816	小田切医院	62-2039
片塩医院	62-2136	みゆき会クリニック	63-2560
畑山医院	67-2888	戸狩診療所	65-3995
清水医院	62-2351	いいやま診療所	67-0100

市外・県外で接種を希望する方はお問い合わせください。



チキンカツ定食 @500円

話題の役所めし!! ワンコインランチ
期間限定 11月13日(金)まで (定休日:土日祝)

飯山市役所5階 食堂 ふじ味 店長 藤澤
TEL: (090)7801-7971 メール:enkai@fujimi.pw

※ご飯おかわり自由



木島村

木島平村やまびこの丘公園へ 3万本のダリアを見に行こう!!

高社山の山麓に広がる「やまびこの丘公園」は多品種の花々が春から秋にかけて咲き誇ります。ダリア園では、8月上旬から260種3万本のダリアが来場者の皆さまをお迎えします。園内は花壇の間を縫うように散策路が整備されており、ゆっくりと散策をお楽しみいただけます。

色彩鮮やかなダリアをご覧にぜひお越しください。

■場所・問合せ
やまびこの丘公園
木島平村大字上木島 3878 番地 80
☎ 82-4664



野沢温泉村

おぼろ月夜の館特別展 「野沢温泉を愛した文化人」

野沢温泉を愛し何度となく訪れ、作品を残した文化人、岡本太郎・斎藤茂吉・笠松紫浪をはじめとする12名の作品と人となりを紹介いたします。

また、2階菜の花ホールでは11月8日(日)まで「野沢温泉陶芸の会作陶展」を開催します。

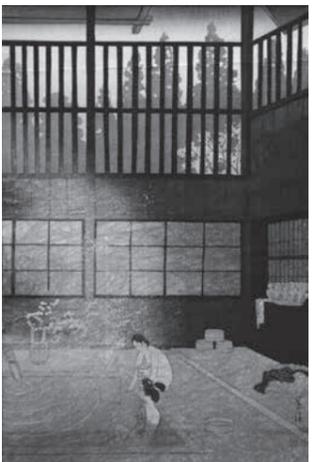
■開催期間
12月6日(日)まで

■開館時間 9:00～17:00

■休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)

■観覧料 一般300円 小中学生150円

■問合せ先 おぼろ月夜の館 ☎ 85-3839



栄村

観光客と地域の方の交流スペース 「じよんのび茶の間」 ～秋山郷で新たな取り組み～

紅葉シーズンに突入り、たくさんの観光客が訪れている秋山郷ですが、観光客と地域の方との交流の場が『じよんのび茶の間』がスタートしました。

これは、空き倉庫と苗場山もきれいに色づいています

なっていたスペースを活用して観光客と地域の方が誰でも自由にゆっくりできるお茶の間のような休憩場所を作り、秋山郷の人の魅力を感じていただくようとしたものです。

秋山郷の紅葉を見にお出かけの際は、ぜひお寄りください。

■期間 10月10日(土)～11月3日(火)

■場所 秋山郷 小赤沢バス停となり

■問合せ先 秋山郷総合センター ☎ 025-767-2202



石川県 七尾市 Nanao City

「能登和倉万葉の里マラソン2016」

— 参加者募集中!! —

全国から7,000名を超えるランナーが集う、人気のマラソン大会です。春うららかな七尾湾を周遊するコースを走りませんか。ゴールの後は、参加賞の牡蠣鍋でほっこり。名物の殻付牡蠣はもちろん、カキめし、カキフライなどをお楽しみください。

■日時 平成28年3月13日(日)

■会場 七尾市和倉温泉街周辺

■参加料 ●マラソンの部…6,000円 ●10kmの部・1.2km(小学4～6年生と親のペア)の部…3,000円

■申込み インターネット予約のみ [能登和倉マラソン](#) 検索

■申込期限 11月30日(月) ※定員に達し次第締め切り

■問合せ先 能登和倉万葉の里マラソン組織委員会事務局 ☎ 0767-53-8436



新潟県 糸魚川市 Itoigawa City

定期観光バスジオま～る号

糸魚川駅発着で、糸魚川市内の観光施設を巡る日帰りの観光バスを今年も運行しています。食事や、観光を手軽なお値段で体験できるチャンスです。ぜひ、ご利用ください。

小滝川ヒスイ峡遊歩道からヒスイ峡を見下す

コース名	翡翠(ひすい)紀行	糸魚川駅 10:20 発 15:45 着
運行期間	料金	昼食
10/10(土)～11/3(火・祝)	●大人4,500円 ●子ども(小学生以下)2,000円 ●ペアバック(大人2人)8,500円	高浪の池食堂 そばと田舎料理の高浪御膳
の土・日・祝日に運行。 ※10/17(土)は運休	コース	
	フォッサマグナミュージアム、高浪の池、小滝川ヒスイ峡、フォッサマグナパーク	

■問合せ先 糸魚川バス ☎ 025-552-0180

このコーナーでは、北陸新幹線の延伸をひとつの契機に、交流人口の増加と地域経済の活性化を図ることを目的に飯山市と観光交流都市協定を締結した都市の観光情報をご紹介します。各都市の魅力を感じていただき、新幹線に乗って訪れてみてはいかがでしょうか。

市内のできごと

法政大学人間環境学部小島ゼミナールが取り組む 学びの里～サマーカレッジ～ 10周年

9月4日～6日 市内各地

平成16年、法政大学人間環境学部の小島聡教授のゼミナールが飯山市の20年後の未来をテーマに調査研究を開始し、翌年から始まった「学びの里～サマーカレッジ～」(千坂経悦実行委員長)の取り組みが今年で10年目を迎え、9月4日から6日の日程で開催されました。

3日間、市内各地で同大学の学生が市民の皆さんとともに地域の魅力や課題を見つめ直し、持続可能な飯山市のまちづくりを考える「地域大学」としてさまざまな交流を行いました。

9月5日は初めてこのイベントが開催された「斑尾高原山の家」で10周年記念シンポジウムが行われ、「消滅なんかない～飯山の希望を語ろう」と題したワークショップでは学生や住民が、飯山の未来についてさまざまな観点から意見交換を行いました。



「私たちの健康は私たちの手で」をモットーに 飯山市食生活改善推進協議会が厚生労働大臣表彰の受賞を報告

9月29日 市役所

9月10日に厚生労働大臣より、食生活改善事業功労者として表彰を受けた「飯山市食生活改善推進協議会」の皆さんが9月29日に市役所を訪れ市長に受賞を報告しました。

同協議会は食生活改善を通じて住民の健康づくりに寄与することを目的に昭和53年に設立。有数の米の生産地である市の特性から「米料理集作会」や高齢者、一人暮らし男性の栄養不足に着目した「男性の料理教室」の開催。子育て中の親御さんにバランスの良い食事やおやつなどを紹介した「子育てサークルへの参画」など長年に渡り乳幼児から高齢者まで、食育の推進や生活習慣予防の食生活改善、

歴史ある観音堂を後世に 笹川観音堂が地域の力で再建される

9月12日・13日 笹川観音堂(柳原地区)

笹川区の観音堂は江戸時代初期の慶安2(1649)年には検地帳により確認されているため、相当古くから地域の信仰の拠り所として存在し、上杉謙信も参拝したと言われる観音堂です。

平成25年頃から本殿の傾きや、屋根の雨漏りなど傷みがひどくなり、再建の検討委員会が区内で発足され、区全体の積立金を元金に昨年4月に着工。1847年の善光寺地震による損傷回復以来の全面改築が行われ9月12日に入仏式、9月13日には竣工式が執り行われました。

笹川観音堂建設委員会委員長の小島安夫さんは「笹川ではお祭りの奉納を観音堂で行う。昔から信仰心に厚い区であり、だからこそ地域の力で建築できた。これを機に地域がより一層結束していけるのではないかとお話ししていました。



唱歌ふるさとのゆかりの地を訪ねて 川崎市麻生区文化協会の一行が飯山を視察

9月14日 菜の花公園ほか

9月14日、川崎市麻生区文化協会の一行が「唱歌ふるさと」のゆかりの地ということで飯山市、中野市などを訪れ研修を行いました。

童謡、唱歌の文化史著者でもあり、飯山市との関係も深い梶亨さんの呼びかけにより訪れた皆さんは、まず菜の花公園を見学。菜の花の咲く時期ではありませんでしたが、千曲川や斑尾山の雄大な景色に唱歌ふるさを照らしながら、時折吹くさわやかな風に心地良さを感じていました。

その後、一行は北竜湖や、小菅、そして唱歌ふるさとの生みの親である高野辰之さんの記念館などを訪問しました。同協会の菅原敬子会長は「自然豊かで緑が美しかった。『ふるさと』を生んだ人を育んだ場所ということも含めて素晴らしいところだと感動した」と感想を述べられました。



食文化の伝承等を関係機関と連携を図りながら地道に進めてきたことが今回の表彰理由となりました。

同協議会の堀内由美子会長は「これまでの先輩方の功績のおかげで今回、表彰していただいた。この活動をしっかり引き継ぎ、またこれを励みとしてがんばっていきたい。」とあいさつされました。



長野県障がい者スポーツ大会で8つのメダル 好成績を取めた選手が市長に成績報告

10月1日 市役所

9月13日に松本市で開催された第15回長野県障がい者スポーツ大会で好成績を取めた皆さんが10月1日市役所を訪れ、市長に成績報告を行いました。

ゲートボールは山崎正孝さん・関谷勝さん・和里田一秀さん・小山忠夫さん・依田知恵子さんが出場し優勝。フライングディスクでは竹田光一さんが優勝。卓球では高澤健さんが優勝。ロケット状の投げき物を投げるシャベリックスローでは町田たみ子さんが優勝。200m走では神農来英さんが準優勝。ソフトボール投げでは熊田郁男さんが3位。100m走では斉藤正臣さんが3位。400m走では唐木優さんが3位と8つのメダルを獲得する輝かしい結果となりました。他の選手の皆さんもメダルには届きませんでした。が健闘を見せ、今大会は素晴らしい大会となりました。

